

神奈川県 聴覚障害者福祉センターだより

2013 年(平成25年) 10・11 月号

第6回



聴障センターまつり

日時：平成25年10月27日(日)

午前10時～午後3時(雨天決行)

会場：神奈川県聴覚障害者福祉センター(第1会場)

藤沢市薬事センター(第2会場：センター正面の建物)

※ 駐車場はありませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。

特別講演(午後1時開演予定)

講師：今村 彩子 氏 (Studio AYA 代表)

テーマ「音のない3.11」



特別講演
講師
今村

彩子
氏

主な内容(予定)

☆ステージ☆

特別講演、手話コーラス、手話ダンス

午後の部

午前の部(10時～12時ごろ)

☆体験コーナー☆

ミニ手話教室、要約筆記体験、
盲ろう者とのコミュニケーション体験

☆お楽しみ☆

アニメ等の字幕上映、スタンブラー、お茶席

☆模擬店・販売コーナー☆

おもち(餅つき実演)、炊き込みご飯、焼きそば、
手話の本、ミニボード、手作り品販売、バザー等

西沢佑氏実演

バザー用品 提供のお願い

聴障センターまつりで、バザーを行います。そのバザー用品の提供を、お願いいたします。

ご家庭で眠っている不用品(未使用・新品)がありましたら、どうか、センターまでご提供いただければありがたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

地域の防災訓練に参加しましょう！！

防災の日、各地で防災訓練が行われました。90年前の大正関東大震災で、神奈川県は大きな被害を受けています。また、2年前の東日本大震災では少なくとも78人以上の聴覚障害者が亡くなっています（JDF及び各現地本部の統計による）。

ところが、聴覚障害者を念頭に置いた災害対策は遅れています。それは、聴覚障害は『外見から見ただけでは障害がわからない』、そして、災害時の聴覚障害は『歩けるのだから問題ないだろう』という人がいます。しかし、行動を判断し危険を察知するには音声、または警報など音からの情報によることが多いのです。『聞こえない』『聞こえにくい』障害者は情報障害とも言われているように、平常時でも必要な情報の把握が困難です。ましてや災害などの非常時になると、耳に障害のある人には正確な情報が入ってきません。

聴覚障害者が被災すると発生する問題

- ・ 消防車・救急車・パトカーのサイレンが聞こえません。
- ・ 広報車のスピーカーや防災無線は聞こえません。
- ・ 家の中にいると避難者の人声や、激しい雨音も気づきません。
- ・ 災害時の緊急テレビ放送は字幕がほとんど付いていません。
（最近は画面の横や上にテロップが増えましたが・・・）
- ・ ラジオによる情報収集はできません。
- ・ 停電の時はFAX、パソコン、テレビも消えます。
- ・ 停電で暗闇になると、手話も筆談もできません。
- ・ 災害直後は携帯電話がつながりにくくなります。
- ・ けがをしても助けを呼ぶことができませんし、発音が不明瞭なので状況の説明ができません。
- ・ 避難先で食事や防寒衣・寝具等、救援・支援物資の配給・支給の情報が把握できません。
- ・ 避難先のテレビに字幕機能がないと、テレビからの情報がつかめません。

聴覚障害者の情報が保障されれば、自分の安全確保ができるばかりか、情報による判断材料が増え、周りの人たちと援助が必要な人に手を差し伸べることもできるのです。

聴覚障害者のことを知っていただき、理解してもらうために、地域訓練に積極的に参加しましょう。地域訓練に参加することは、災害時に備え、聴覚障害者と地域住民が一体となって協調するために不可欠であるだけでなく、聴覚障害者の存在を地域住民に知っていただき、交流を深めるいい機会となります。



（三者協力）神奈川県手話通訳者研修会のお知らせ

日 時：平成25年11月17日（日）13時30分～15時30分
テ マ：「市役所に手話通訳者のできる正職員がいることの意義」（仮題）
講 師：速水 千穂 氏（埼玉県聴覚障害者協会 理事、川越市聴覚障害者協会 福祉対策部長）
会 場：神奈川県聴覚障害者福祉センター
対 象 者：神奈川県認定手話通訳者、聴覚障害者

神奈川県域では、各市町村に常時設置通訳者が設置されるところが少しずつ増えてきていますが、身分は非常勤職員です。正職員が設置されることでどのように聴覚障害者の社会が変わるのか、また交渉や障害福祉課との関わりはどのようにするのか、埼玉県での事例をお話頂きます。

世界で一つだけの エコバッグを作ろう

趣味の教室

私のオリジナルエコバッグ♪

日 時：平成25年10月19日（土）
13時30分～15時30分

会 場：神奈川県聴覚障害者福祉センター

講 師：横山 康之 先生

（オリジナルマリンアート 辻堂水族館）

料 金：500円（材料費実費）

定員は10名（先着順）ですが、
まだまだ受付しています！！

この機会に、オリジナルエコバッグを
作ってみませんか！？

好評につき、第2回開催！！

『おしゃべりサロン』

日 時：平成25年11月2日（土）

13時00分～15時00分

会 場：神奈川県聴覚障害者福祉センター

対 象：聴覚障害者

申し込み：大谷まで

FAX：0466-27-1225

センターの見学に来館されました！

小学生ふくし1日教室が当センターで開催され、開成町から30人
近くの小学生が、夏休みを利用してセンターにやってきました。

耳が聞こえない人や聞こえにくい人と「お話をするには」「一緒にテ
レビを楽しむには」どんな工夫があるのかを考えました。その後、ミ
ニ手話教室で覚えた自分の名前を、スタジオ体験で実際にカメラの前
で、手話で表現して撮影しました。午後は聴導犬と触れ合い、元気い
っぱいの1日でした。

また、茅ヶ崎市の民生委員の方々もセンター見学に来ていただき、
いろいろな質問がでていました。



茅ヶ崎市民生委員の方々を
案内する黒崎所長

全国聴覚障害者情報提供施設協議会 第2ブロック会議報告

8月29日（木）、とちぎ福祉プラザで全国
聴覚障害者情報提供施設協議会第2ブロック
会議が開催されました。11施設18人の出
席で、遠隔情報保障と障害者総合支援法につ
いての情報、意見交換を行いました。

遠隔情報保障については、川崎でのその後の
動きや各地の様子などの報告があり、目立
った動きはないもの、注意深く状況を見守る
とともに、全日本ろうあ連盟から出された指
針に基づいて、対応していくことが確認され
ました。

障害者総合支援法については、意思疎通支
援事業についての意見交換を中心に行いまし
た。「高度な」分野の意味が曖昧、連絡調整者
の身分や資格が不明確、派遣費や調整料など
の積算、予算化が難しいなどの意見が出され
ました。どこも検討が始まったばかりで、確
認や検討の作業に追われている状況でした。
県外派遣など関東として統一した形態の確立
をといった提案もありましたが、各施設が十
分に検討が進んでいないこともあり、今後の
課題となりました。

市町村保健師等聴覚障害研修会 開催報告

8月28日（水）に、市町村保健師等聴覚障害
研修会を行いました。7市2町の保健師等の方々
17人にご参加いただきました。講師は、長年聴
覚障害乳幼児の教育に携わってこられた南村洋子
先生をお招きしました。午前は南村洋子先生によ
る、聴覚障害についての基本的な知識を先生の豊
かなご経験を交えてお話していただきました。日
頃お子さんに関わる仕事をされている保健師等
の方々が、聴覚障害について改めて知る機会となり、
大変良かったという感想が多く寄せられていま
す。

午後は情報交換の時間を設けました。各現場の
状況を報告し合い、それぞれが抱えている問題に
南村先生から助言をいただいたり、疑問に答えたり
していき、大変充実した内容となりました。今後も当セン
ターと各市町村との
連携を深めて、聴覚
障害児への支援へと
つなげていきたいと
思います。



《 手話通訳・要約筆記者派遣状況 》

手話通訳 (人数)			要約筆記 (人数)		
	25 年度	24 年度		25 年度	24 年度
6 月	41	75	6 月	46	96
7 月	52	53	7 月	40	45
8 月	43	26	8 月	10	4
累計/4月から	222	241	累計/4月から	196	211

※数値には、行政紹介を含む。

※数値には、行政紹介を含む。

本部事業課から

【自主事業・手話通訳、要約筆記、講師、盲ろう者通訳・介助員派遣状況】 (人数)

	手話通訳		要約筆記		講 師		盲ろう者通訳・介助員	
	25 年度	24 年度	25 年度	24 年度	25 年度	24 年度	25 年度	24 年度
6 月	96	150	49	46	27	47	249	196
7 月	146	116	67	52	17	38	282	256
8 月	159	142	31	59	11	6	223	204
累計/4 月から	815	824	424	271	100	146	1,293	1,138

12月7日(土曜日)は、神奈川県手話通訳者認定試験日です

※ 当日は、受験者以外の方は、入館できません。

会 場：神奈川県聴覚障害者福祉センター

対 象 者：①平成24年度養成コース受講者

②養成コース修了者、他県での手話通訳者養成課程修了者(統一試験導入地域に限る)又は国リハ等手話通訳関係の専門学校卒業者で、平成23・24・25年度学科試験合格者

申込締切：10月11日(金)必着

申込方法：「神奈川県手話通訳者認定試験 受験の案内」等をお取り寄せの上、郵送または受付にて当センターにお申し込みください。当センターホームページ「講座・講習会・研修会のお知らせ」からもダウンロードできます。

— よろしくお願ひします！ —



平成25年8月1日付けで当法人に採用された職員を紹介します。

吉弘 彩乃(よしひろ あやの)

＜施設事業課・要約筆記者養成担当＞

好きな食べ物：秋ならカボチャのスイーツを食べたくなります。

今、一番やりたいこと：藤沢の美味しいお店めぐり

お役に立てるよう精一杯努力しますので、よろしくお願いいたします。

— おつかれさまでした —

飯島 まゆみさん

平成23年4月1日から、要約筆記者養成担当として勤務していましたが、平成25年7月31日に退職されました。おつかれさまでした。

☆ 休 館 日 ☆

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
10		1	2	3	4	5	11					1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

発 行 神奈川県聴覚障害者福祉センター ☎ 251-8533 藤沢市藤沢 933-2
 ☎ (0466) 27-1911 FAX (0466) 27-1225
 ホームページ <http://www.kanagawa-wad.jp> メールアドレス office@kanagawa-wad.jp